

<p><u>教育・保育理念</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も友だちも大切にできる心の育成 ・学びの芽の育成 ・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成

<p><u>園の重点項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが、安心して過ごせる環境の中で主体的に遊び、人とかかわる中で、自分も人も大事にできる心を育てる (①・②・③・④・⑤)
--

<p>令和7年度 重点内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遊びや生活を通して主体性や自尊感情を育む 2. しなやかな体作りと豊かな表現活動から心と体を育てる 3. こ・保・小や地域との連携・つながりを持ち、学びや育ちをつなぐ 4. 保護者や家庭の状況を把握し、子どもの育ちを共有する 5. 職員の資質向上をめざす
--

重点内容	重点内容に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価
<p>主遊 体び 性や や生 自活 尊を 感通 情し をて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主性や意欲を大切にし、興味や関心がわくような遊びや生活の保障及び導入の工夫 ・子どもの発達に応じて活動が理解できる手立てや内容の工夫 ・友だちとの関わりをくぐる中で自己肯定感を感じられる仲間づくりやクラス運営を行う ・他クラスとの活動や異年齢交流を通して、相手の気持ちを知り、考えて関わること・関わってもらえたことの嬉しさを経験し、心を豊かにしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの現状をしっかりと把握したうえで遊びの環境を構成する ・「やりたい」という思いが「実現した」と実感できるような導入や取り組み方法を考え教材準備をおこなう ・楽しかったことを友だちと共有し「またしよう!」という思いを次につないで遊びを終える ・ねらいに応じて、子ども同士が関わりを持ちやすい環境やグループ等の構成をする ・発達に応じた伝え方で自分の思いを表現することの大切さを感じさせていく ・年齢発達の間隔がある中で活動であることを考慮し、生活や遊びを自然な形で取り組めるように環境構成等をおこなう ・子ども一人一人の良さが見られるようにする ・年齢の違う友だちとの関わり心地よさを感じられるようにする 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が一人一人の気持ちや思いを大切にしているので、年を重ねるごとに優しさや思いやりのある園児に育っていると感じる。 ・じっくりと丁寧に職員が園児に寄り添い待つことを心掛けているので、園児が安心して生活していると感じる。
<p>活りし 動とな をか豊 育てら らかな 心な表 なと体 表現作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味や関心、発達に応じて友だちと一緒に全身を使って遊び、体を使って遊ぶ楽しさを知る ・実体験を基盤に自分の思いを表現したり、友だちと一緒にイメージを膨らませて遊ぶ経験を通して、豊かな表現につなげていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や社会環境を子どもたちが体で感じ取ることができるような場面設定を考える ・感じたことをその場で身振りや言葉で表現できる場を設定し、友だちと共有し楽しめるようにする ・楽しかったことを描画・歌・リズム楽器・制作・運動あそびなど多様な表現活動に展開する ・日々の実体験を基にした遊びの充実により、絵本やお話のイメージの共有につなげる ・行事の取り組みは、子ども同士が支え合って作り上げた達成感を感じられるように進める ・長期に取り組む教材は職員間で教材分析を行い子どもたちと読み取りが深まるような教材を選ぶ 	<p>A</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと体づくりができる環境になっている。 ・スモールステップで取り組むことを大切にし、失敗からの学びも大切であると感じる。
<p>携こ つな 育なが ち保 をつ小 つなや ぐ地 の域 の学との 学連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四園交流や小学校との計画的な教育・保育の交流と担任間の交流 ・行事の交流や授業見学や防災訓練等の協力を図る ・防災訓練やきりん教室等、地域活動への職員の積極的参加と園庭開放、育児講座、各教室等子育て支援の発信 ・地域会館の方や地元の方と太鼓や地域にある店舗訪問等を通して子どもたちが地域の方に支えられていることを実感できるようにする ・散歩や公共施設・公園などを利用して『堺』という街を知ろうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育保育施設の情報を職員間で共有し交流等を通して教育保育の質の向上につなげる ・小学校訪問や校庭使用、災害時を想定した避難訓練などを通して円滑な接続につなげる ・地域の取り組みに参加し、地域の方とのコミュニケーションを図る ・園の機能を発揮して地域のニーズを理解したうえで子育て支援をおこなう ・お店ごっこの見学やふんと太鼓の見学等地域の方との交流から地域に支えてもらい育っていることを実感できるようにする ・園周辺の公園や様々な施設等豊かな環境を発達に応じた活動を通して『堺』に関心を持てるようにする 	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携はとれているので、さらに関係が深まり園児の学びや育ちがより一層広がっていくとよい。
<p>子状保 も況護 を者 育握家の ちし庭 をの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や家庭の状況を迎送時や個人懇談などを通して把握し、一緒に考えながら子育てしていく関係性を進める ・日々の教育・保育内容が誰もがわかるような工夫を(フォトニュースやスライドショー、お便り：ふりがなや多言語訳)の明示に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの育ちを把握するとともに多国籍など様々な環境下で生活している子どもや保護者に寄り添った子育て支援や発達支援をおこない信頼関係を築いていく ・日々の教育保育内容に興味関心を持つような形での発信をおこなったり、コミュニケーションを図りながら保護者のニーズや思いを理解し子どもの育ちに関心を持ってもらえるようにする 	<p>A</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携はとれている。
<p>向職 上員 すをの め資 び質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢の教育保育内容の一貫性と年齢間の連続性について、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿とともに検証する ・園内の公開保育を実施し、教育保育の基盤となる人間関係についての学びを深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームアップ研修や園内研修を主体的に取り組み質の向上を図る ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿についてこれまでの積み重ねを整理し専門性を高める ・公開保育に積極的に取り組み、学ぶ視点を明確にする ・人間関係に重点を置いた意見交流をおこない、集団の視点で教育・保育の具体的実践を学びあう 	<p>A</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の時間を確保し、学び合って成果を出している。

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法	園長より
<p>保育教諭や友だちと関わりながら、自分の思いを身振りや言葉で伝える。友だちと一緒に活動する楽しさを感じ、イメージをもって楽しむ。</p>	<p>一人一人の気持ちをしっかりと受けとめながら、思いを言葉や動作にして伝えられるように丁寧に関わり、伝わることの喜びを感じ合い共有する。またクラス保育や異年齢保育など、主体的なあそびになるように園児の興味関心を把握し、実践を行う。</p>	<p>園内研修にてリズム研修を行い、様々な動きの確認をし、学び合い教育・保育で実践してきました。継続的に取り組むことでしなやかな身体づくりや自分の身を守る丈夫な体づくりにつながりました。クラス保育、異年齢保育で様々な職員や友だちと関わる心地よさ、一緒に取り組むことの嬉しさを感じています。まずは個々の気持ちをしっかりと受けとめ情緒の安定を図り、園児が「やってみたい」と感じて楽しめる環境づくりを目指していきたいです。また保護者との連携を大事にし、ともに子育てできる信頼関係の構築や地域との関わりを大事にして取り組んでまいります。</p>
<p>保育教諭や友だちと一緒に様々な活動に取り組み、一人一人が「できた」「たのしかった」という達成感を味わう。</p>	<p>クラス集団の姿や一人一人の発達などを把握し、どのような取り組み、手立てが必要なかを人的環境、物的環境面から職員間で検討し、一人一人にあった教育・保育を丁寧に行う。</p>	<p>評価の基準</p> <p>A・・・達成している</p> <p>B・・・おおむね達成している</p> <p>C・・・取り組みが不十分である</p>